

# 垂井町 地域子ども教室新聞

垂井町教育委員会生涯学習課 発行

今年度は、新たな教室や同じ教室でも様々な工夫がなされていました。また、学校運営協議会と連携して、学校の授業とタイアップして実施されている教室も多くありました。学校だけではなかなか難しい地域の歴史教室、伝統文化の教室、自然教室、スポーツ教室を実施していただきました。

さて、本年度も「岐阜県地域子ども支援賞」が、個人の部52名、団体の部17組が選出されました。垂井町からは、個人の部2名、団体の部1組の方々を受賞されました。この賞の受賞資格の条件の一つとして、「10年間にわたって」とあります。本当に長年にわたり活動していただいたことに、感謝申し上げます。

- 中川 いつみ 様  
(千之こども教室「お花教室」講師)  
<活動年数18年>
- 古川 英治 様  
(公民館主事として地域行事の運営に始まり現在は地域ボランティア講師)  
<活動年数53年>
- 読み聞かせサークル ぼけっと 様  
(本の読み聞かせ活動)  
<活動年数35年>



表敬訪問の様子 左から  
中川いつみ様 古川英治様  
読み聞かせサークル ぼけっと様  
(近藤佐知子様 中村輝子様)  
早野博文町長

祝 令和七年度  
岐阜県地域子ども支援賞  
受賞者の皆様

## 府中地区：集学舎

### 茶道教室

毎年、年間7回程実施されている茶道教室の4回目が、9月6日(土)に行われました。

衣斐みどりさんをチーフとして、河瀬良子さん、川口美千代さん、中村真木子さんの4名の方が、2ヶ所に分かれて指導されています。



5・6 (5・6年生対象のコース) 年生対象のお点前コースは、マンツーマン指導です。1年生から対象の基本コースでは、礼儀作法、名称、運ぶ、いただく、お点前を覚える中で、お茶のおもてなしを受ける人の立場になって考えることや、お茶を点てた人の気持ちを考えることを指導してみえました。

子どもたちは、「親から勧められて、やって良かった。」「ちょっと難しいところがあるけど、できるようになって、楽しい。」とっていました。1年生の男の子たちが、先生の言葉に従って、落ち着いて座っている姿や、いっぱい先生に誉められて、嬉しそうにしている姿が印象的でした。



(1年生から対象のコース)

多くの子どもたちが茶道家元表千家より免許を授与されるのは、指導が手厚く段階的にされているからだと思います。

## 岩手地区：菁莪塾

### 星空観測

渡邊裕之さんと、渡邊さんの天体観測のお仲間である林亜有美さん、鈴木直人さん、山口宏一さんを講師にお招きし、9月27日(土)の18時30分から星空観測の教室が行われました。

教室が始まる直前に、国際宇宙ステーションが東の空を移動していく様子を教えてもらい、みんなで見ました。

はじめに、林亜有美さんによる「星のお話(秋の星案内)」がありました。プレゼンと道具を用いて、恒星、惑星、衛星の違い、星の大きさや明るさ、地球からの距離について、分かりやすく説明してもらいました。そして、今晚観測する星の説明をしていただきました。その後、星空発見カードをもらって、岩手小学校の運動場で、実際に望遠鏡で星を観測しました。また、サーチライトやレーザーポインターで、肉眼で星座や北極星の見つけ方、夏の大三角などいろいろな星や星座の説明もしてもらいました。



(説明中の林さん)

肉眼では、一つに見える星も望遠鏡で見ると二つの星であったり、星雲の色がとてもきれいに見えたりしました。また、今見える土星の形は、15年後にしか見えないなど貴重な体験をすることができました。

実際に星空観測の場において、参加された保護者の方々や子どもたちの歓声を聞いて、やはり実際に見ることによる感動はとても大きいと思いました。

こういった体験ができる子どもたちは、本当に幸せだなあと思いました。

ボランティアの方も、これだけ喜んでいただけたとやったかいたいがありましたと言われました。

10年以上続いている教室です。(準備された望遠鏡の一つ) (観測の様子) (望遠鏡にスマホで撮った星雲)



◎「地域子ども教室新聞」37号を発行することができました。

この新聞は、主に9月~11月に行われた「地域子ども教室」の内容をお知らせしました。取材のご協力や資料を提供していただき等、各地区のまちづくりセンターの皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

地域子ども教室で、子どもたちと接してみえる講師の方々や関わってみえるボランティアの皆さんの様子をお伺いして、まさに生涯学習の一環だと思いました。

※ 活動中の子どもたちの写真の使用について、ご理解をお願いします。



取材メモ  
問い合わせ  
生涯学習課  
☎ 22-1154

## 各地区まちづくり協議会 「地域子ども教室事業」

### 1 各地域の特色ある体験教室

- ◇ 垂井：たるいっこチャレンジ教室
- ◇ 東：光の子チャレンジ教室
- ◇ 宮代：千之こども教室
- ◇ 表佐：ちさとこども教室
- ◇ 栗原：栗っ子お楽しみ教室
- ◇ 府中：集学舎
- ◇ 岩手：菁莪塾



### 2 令和7年度 年間活動実績 (2月以降は予定)

- ☆ 全教室数 … 85 教室
- ☆ 全回数 … 111 回
- ☆ 参加児童数 … 2,501 名
- ☆ 地域ボランティア等参加人数 … 1,265 名

地域子ども教室のねがい  
心豊かで  
たくましい子どもを、  
地域で連携して育てよう!

各地域でいろいろな遊びや体験活動を展開!  
~ 技術や知識、心を伝承し、生きる力を育成 ~

☆ 自ら考え、自らの力で自分や地域の将来を切り拓く力を付ける。

☆ 地域の方々や仲間と協力・共生しながら、地域の将来を担い、活躍するたくましい子どもを育成する。

☆ 様々な体験活動を通して、子どもたちが生涯学習の基盤を身に付ける。

☆ 地域の方々がかつ技能や知識、思い(心)を引き継ぎ、自らの向上と地域の活性化を図る。

## 垂井地区：たるいっこチャレンジ教室

そば打ち教室



(澤島さんの説明) (そば切りの実演)

10月18日(土)に、ワイワイプラザ垂井の調理室で、澤島謙司さんを講師にお招きしてそば打ち教室を実施しました。

澤島さんからそば作りの手順の説明を聞き、そば打ちの実演も見せてもらいました。それから、一人一つずつの作業台で本格的なそば打ちに取り組みました。

子ども自身がそば打ちをする体験は初めてで、付き添いのお母さんたちは、子どもがそば打ちをする姿、そばを切る姿に感動して、大変喜んでみえました。

澤島さんに上手にそばを茹でる方法を教えていただき、一生懸命に打ったそばを各自家に持ち帰りました。何気なくいただいているそばは、力も心も込められて作られていることが分かりました。

家で食べるのを楽しみにしていました。



(そばを伸ばします) (澤島さんに見守られて)

を勉強しようと思った。」と感想を述べていました。担任の先生は、「自分自身も知らなかったことが多くあり、ここで得た知識を活かしたい。」と話されました。

そして、参加された宮代の自然と歴史・文化を愛する会の方は、「故郷を愛し、誇りに思ってくれたらと願っています。」と話されました。

地域と学校が協働したコミュニティ・スクールの成果が見られる授業でした。



(正行院で)



(大領神社で)

## 表佐地区：ちさと子ども教室

クッキング教室

10月25日(土)に、表佐地区まちづくりセンターで、低学年(1~3年)の児童対象に「クッキング教室」が行われ、25名の子どもたちが参加しました。

ちさと子ども教室実行委員の廣瀬貴子さんの説明により、「おいもとリンゴの鬼まんじゅう」と「スイートポテトリンゴ餅」を作りました。子どもたちは、「包丁を初めて使った。さつまいもは堅かったけど、切れて嬉しかった。」



(廣瀬さんの説明)



(さつまいもを包丁で切る)



(黄身と白身に分ける) (おいもをつぶします) (フライ返します)

「鬼まんじゅうもスイートポテトリンゴ餅も美味しかった。」と言っていました。参加された保護者の方からは、「ヒヤヒヤして見ていただけ、みんなやる気あって、楽しかったです。」「子どもが友だちと一緒に作る機会はありませんので、良い企画だと思います。」と話されました。子どもたちは、大人の見守り中で、楽しそうに取り組んでいました。

## 東地区：光の子チャレンジ教室

サツマイモの収穫

9月25日(木)に、3年生の総合的な学習の時間と光の子チャレンジ教室がタイアップして、5月13日(火)に植えた紅あすまの収穫を行いました。今年は猛暑日が続くサツマイモの生育が思わしくなく、8月の下旬にはスタッフの方たちも心配してみえました。当日、2クラス70名の児童が、講師の柳瀬西雄さんの説明を聞いてから、イモ掘りに挑戦しました。PTAの方3名、子ども会の役員の方1名、青少年育成協力推進員の方1名が、ボランティアとして、参加していただきました。



(柳瀬さんのお話) (地域の方にも手伝ってもらって)

児童からは、「大きなサツマイモがいっぱい採れて楽しかった。」「ツルをたどっていくと、大きなイモや小さなイモがあって、宝探しみたいで面白かった。」などの感想が聞けました。参加されたPTAの方からは、「子どもたちの手伝いをしていて、採るのに大きいものや小さいもの、簡単に採れるものや大変苦労するものがあるって、面白かった。」「子どもたちが楽しそうに取り組んでいて、見ていて面白かった。」というお話が聞けました。



(みんなで協力して) (採れました!)

## 宮代地区：千之子ども教室

ふるさと歴史講座



(南宮大社前の道標に書かれているのは?)

10月24日(金)に、宮代小学校6年生の総合的な学習の時間と千之子ども教室がタイアップして、「ふるさと歴史講座」が行われました。宮代の自然と歴史・文化を愛する会会長の廣岡清隆さんの説明を受けながら、壬申の乱・承久の乱・関ヶ原合戦に関わる宮代地区内の史跡をめぐるりました。

児童たちは、「宮代が、関ヶ原合戦や壬申の乱とこんなに関係のある地とは知らなかった。」「宮代はすごく歴史があり、繁栄したところだったことを知った。」「宮代にとっても栄えた文化があったことを知って、嬉しかった。もっと、歴史



(廣岡さんが示した家紋は?)

## 栗原地区：栗っ子お楽しみ教室

工作教室

11月1日(土)と2日(日)の2日間をかけて、センター員の志水磨奈美さんが講師を務め、「ランプシェードを作ろう!」と工作教室が行われました。

このランプシェードは、文化祭で展示するもので、合原小学校の児童が2名参加してくれました。

1日目は、風船に接着剤を付け、その上に毛糸をグルグル巻いて乾燥させました。(ポイントは毛糸がゆるまないようにピンと張るように巻きつけることです。)

2日目は、毛糸が巻かれて乾燥した風船を割ります。そして、中空の毛糸のボールの形を整えて、毛糸に思い思いに飾りを付けていきます。最後にLEDライトを照らし、ランプシェードが完成しました。



(風船に毛糸を巻きます) (ピンと張れているかチェックです)



(形をととのえ、飾りを付けます)



(完成しました!)

児童は、「風船に毛糸を上手に巻くのが難しかった。」「夜になり、ランプを点けるのが待ち遠しい。」と言っていました。

指導された志水さんは、「風船が球体のため、毛糸をゆるませずにピンと張ることが難しかったと思いますが、子どもたちは頑張って巻いていて、嬉しく思いました。」と話されました。